

## 会 議 録 （ 要 旨 ）

<b>会 議 の 名 称</b>	平成28年度第3回浅口市行財政改革推進懇談会		
<b>開 催 日 時</b>	平成29年1月20日（金）14時00分から15時47分		
<b>開 催 場 所</b>	浅口市役所 3階 第1会議室		
<b>出 席 者 及 び 欠 席 者</b>	<p>【懇談会委員】 佐藤豊信会長・中西美治副会長・佐藤正人・笠原照美・守屋靖・坂本眞一・奥慎二・大橋徳子</p> <p>【委員欠席者】 柿本登志雄・山内悦子・妹尾義信・若井勝行</p> <p>【事務局】 秋田裕企画財政部長・富田直弘政策課長・ほか政策課2人</p>		
<b>傍 聴 の 可 否</b>	傍聴可能	<b>傍 聴 者 数</b>	
<b>会 議 次 第</b>	<p>1 開 会</p> <p>2 協議事項</p> <p>（1）第3次浅口市行政改革大綱及び改革プランについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革大綱について</li> <li>・行政改革プランについて</li> </ul> <p>（2）本庁・総合支所（分室）のあり方について</p> <p>（3）その他</p> <p>3 閉 会</p>		
<b>問 い 合 わ せ 先</b>	<p>企画財政部政策課</p> <p>電話番号 0865-44-9013</p> <p>〒719-0295</p> <p>岡山県浅口市鴨方町六条院中3050</p> <p>e-mail:seisaku@city.asakuchi.lg.jp</p>		

発言者	内 容
事務局	日程、資料の確認。 【開会】14：00
佐藤会長	本日の議題は「第3次行政改革大綱及びプラン」と「本庁・支所（分室）のあり方」についての2件で、ともに答申の最終案まで決定したいと思うが、だからといって議論をしないというわけではないので、しっかり意見を出していただき、まとめていきたい。 それでは、(1)のうち、第3次行政改革大綱とプランについて、事務局から説明を求める。
事務局	第3次行政改革大綱・プラン（案）の修正について説明。
佐藤会長	ただいま事務局より、前回からの修正について説明があったが、委員のみなさんから何か意見等はあるか。
中西副会長	確認だが、赤字部分に横線のあるものは消えるということで良いか。
事務局	そのとおり。赤字部分が追加で、赤字部分に横線のあるものは削除している。
佐藤会長	他に意見が無いようなので、説明のあった修正箇所を追加し、残りの部分は従前の内容で承認いただいたということにする。次に、答申（案）について、事務局から説明を求めます。
事務局	第3次行政改革大綱・プラン（案）の答申（案）について説明。
佐藤会長	ただいま事務局より、答申（案）について説明があったが、みなさんから何か意見があれば。
中西副会長	補足事項に進捗状況の報告や評価について記載されているが、どのように実施していくよう考えているか。
事務局	行財政改革推進懇談会で、進捗状況の報告と各事業の評価等を行っていきよう考えている。

守屋委員	厳しい目で評価していくことが必要なので、行財政改革に関して専門的な知識のある者に評価をしてもらうことも必要なのは。
佐藤会長	懇談会の構成員が各分野の代表となっているので、ある程度は専門性を有していると思われるが、更に特殊な知識を有する者が必要になるようなら、それに応じて懇談会に招へいしていくということになる。答申の内容はこのレベルで問題は無いと思うが、懇談会の姿勢として今後も厳しい目で評価等を行っていくということを、この場で確認しておきたい。
大橋委員	大綱・プランに『市民』という言葉が何度も出てきているが、市民に『自分たちのためになる』ということを理解してもらうことが重要。私達はこの懇談会で行財政改革の必要性を知ることができているが、同じ内容を一般の市民にどれだけ知ってもらい、理解してもらえるか。
佐藤会長	行政が行っていることを市民に知ってもらうことが必要であり、特に何かを変えるような時は市民と情報共有をしておくことが大切。どの自治体も取り組んでいるが、言うのは簡単であるが、真にどこまで共有できているか、実態は難しいケースが多々ある。情報共有については、今後の懇談会で検証や見直しを行っていくべき。他に意見が無いようなので、説明のあった答申（案）は、この内容で承認いただいたということにする。次に、（２）本庁・総合支所（分室）のあり方の組織体制について、事務局から説明を求める。
事務局	本庁・分散方式の体制について説明。
佐藤会長	ただいまの事務局の説明について、何か意見があれば。
佐藤委員	本庁・総合支所のあり方が決まった際、実際に体制が変わるのはいつ頃になるのか。
事務局	今年度中に答申をいただいた後、平成２９年度は基本計画を策定する予定となっている。その基本計画の中で施設や職員配置、総合窓口の設置場所などを検討していくが、懇談会の中でも意見が出たように、

	<p>市民への説明に努め、同時に市民の声を聴いていかなければならない。また、財政面からも必要最低限の増改築で済ませられるよう検討しながら、合併特例債の期限である平成32年度を目途に進めていきたい。</p>
中西副会長	<p>例えば寄島の安心安全、具体的には高潮対策に対応する人間なんか足りなくなるように思う。行政の仕事であったものが地域や消防団に移る可能性もあるので、それらとの関わり方も並行して考えないと。また、他の分野でも同じような課題があるかもしれない。</p>
事務局	<p>災害等の緊急対応は重要な課題になってくる。本庁・総合支所のあり方の答申をいただいた後、基本計画を策定する中で地域の役割なども合わせて検討していきたい。</p>
佐藤会長	<p>本庁・総合支所のあり方の中で、課題を解決する方法として説明があったのが総合窓口であるが、先進地の例から浅口市に導入した際のメリット・デメリットや、浅口市の考えている総合窓口などが出てきていない。</p>
事務局	<p>セミナー等で大阪や京都などの事例を調べているが、平成29年度に基本計画を策定するため、先進事例について情報を集めている最中であり、これから現場に行って調べたい。</p>
佐藤会長	<p>大変重要な問題であり、『これから』といった意識を改めた方がいい。</p>
奥委員	<p>転入と転出に対応する総合窓口と説明があったが、当初の総合窓口の意味合いが薄れるように感じる。それ以外の事務で、2カ所にまたがるようなものが出てくるなら今より分かりにくくなるかもしれない。あと、先ほどの寄島の災害対策の話があったが、他にもデメリットではないが課題となるようなものがあるかもしれないので、確認をしておくべき。</p> <p>それと質問が2点、1点目はICTツールの活用とあったが具体的にどのようなものがあるのか。2点目は、金光総合支所の庁舎は耐震化が完了していたか。それによって今後の運用が変わってくる。</p>
事務局	<p>現在の課題として、転入者は本庁と健康福祉センターと中央公民館に</p>

	<p>行かなければならないという現状がある。できるだけ手続きを簡素に行うことができるよう、転出や死亡の手続きなども合わせて検討をしていかなければならない。しかし、新しい建物を建てて総合窓口を設置するといった財政的余力は浅口市にはないことから、福祉センターのフロアを使って検討をはじめようということ。限られたスペースといった制限のもと考えていかなければならないが、財政上のメリットとして数字にはすぐに表れないが、他のメリットとして市民の手続きの簡略化や事務の効率化が挙げられる。</p> <p>2点の質問については、1点目のICTツールの活用は、PC画面を通して本庁と支所がやりとりをするようなものを想定している。2点目の金光町の耐震化は、まだ行われていない。</p>
大橋委員	<p>空きスペースの有効活用として、団体への部屋の貸し出しによる財源確保が考えられるが、浅口市の公共施設の耐震化はどのようになっているか。できていないなら、早急に対応ができるのか。</p>
事務局	<p>公共施設の耐震状況の調査は完了している。昭和56年以前の建物が耐震工事の対象となるが、先ほどの話のとおり金光総合支所が完了していない。また、中央公民館も平成29年度に工事を着工する予定となっている。これらは計画的に進めていきたい。</p>
佐藤会長	<p>今までの話をまとめると、本庁自体が手狭になっており、だからといって改築することも困難であり、基本的には周囲の施設を活用していかざるを得ない。また、本庁と総合支所の3つの建物を、そのまま機能を残したまま運営していくようなことは財政的にも困難であり現実的ではない。そういったことで、本庁と総合支所の統廃合を検討していかなければならないが、業務コストのカットや、市民の利便性向上などを考えると、事務局から説明のあった総合窓口という方向でファーストステップを踏み出したいということ。</p> <p>また、防災関係については、本庁・総合支所のあり方の検討の中だけでなく、防災全体の話で、浅口市として防災計画をどのように対応していくか考えていかなければならない。</p>
中西副会長	<p>現在は寄島総合支所の職員が災害対策の事前準備をしており、今後支所が縮小し、これが窓口対応の職員のみになるとやっていけない。行政側も課題として認識しておかなければ、地域への説明会で話題にな</p>

	<p>る可能性が大いにある。少なくとも懇談会の委員は課題として共通認識をしておかなければならないし、市民からどこで聞かれるか分からない。</p>
事務局	<p>災害対策も非常に大切な問題ととらえており、まだ現在も検討課題と認識している。答申の中にも大きな課題として入れていただき、今後、防災計画の見直しについて十分に考えていきたい。</p>
佐藤会長	<p>このあたりで答申（案）の内容に移りたいが、今の災害対策についての記載方法も考えたい。まずは事務局の説明を求める。</p>
事務局	<p>答申（案）の説明の前に、本日欠席の山内委員から事前に意見をいただいている。支所庁舎は、まだまだ空きスペースを有効に活用できておらず、もっと早く活用できるようスピード化してほしいといったこと。支所のみならず、まだまだ空きスペースが有効活用できていない現状から、貸し出し等を早急に行えるよう考えていきたい。 続いて、答申（案）について説明。</p>
佐藤会長	<p>ただいまの事務局の説明について、追加や訂正について何か意見があれば。</p>
中西副会長	<p>先ほどの防災対策について、答申（案）の文章レベルから考えて並列して記載するのはバランスがおかしいように感じた。大事なことはあるので、職員には認識してもらいたいが。</p>
佐藤会長	<p>防災対策と本庁・総合支所の問題は密接にリンクしているので、これは入れた方がいい。現状の項目立てでバランスが悪いようなので、新たな項目を作って載せるべき。 他に意見は無いようなので、今の修正を副会長と私で確認をさせていただき、答申をさせていただくような流れで委員のみなさんには承認をいただきたいが、どうか。</p> <p style="text-align: center;">（委員より承認）</p>
佐藤会長	<p>次に、（３）その他について事務局から何かあるか。</p>

事務局	<p>答申の最終案も会長と副会長に確認いただき、答申も2人に一任という形になったので、委員みなさんが集まるのは今回で終了とさせていただきます。ここで、市長からみなさんにお礼を言わせていただきたいので、5分休憩の後、再開したい。</p>
	<p>(5分休憩)</p>
事務局	<p>それでは、まず佐藤会長から行財政改革全般と支所・本庁のあり方、また審議の中で出た、重要な意見・考え方について簡単に述べていただきたい。</p>
佐藤会長	<p>議論の細かい部分については、答申の文章・議事録を読んでもらうだけでいい。基本的に行財政改革の中で挙がっていたのは、市民と職員の意識改革、これは極めて重要である。職員は公務員組織の中にずっといることで、何が問題なのか認識ができていないところがあり、今日の議論でも『これから』という意識について厳しい意見を言わせていただいた。このような現状を誰が変えるのかといたら、市長がリーダーシップをとり、革新的な意識を持ち、厳しい質問を投げかけることなどが必要になってくる。これによって職員が従来の考え方を改め、新しいことを真剣にどのようにやっていくのかと必死に考えていく。このような体質を作っていかなければ、真の行財政改革にはならないだろうと思っている。しかし、職員がダイナミックな発想をするというのは難しいことなので、市長には大きな視点に立って職員をリードし、先を見通した雰囲気づくりをしていただきたい。</p> <p>また、市民の意識改革については、まず職員が変わらないといけない。市民は職員の後ろ姿を見ていると思うし、他の多くの自治体を見ているが、事務対応や困りごとの相談などでテキパキしている職員とそうでない職員がいるのは事実。職員が変わり、それを見た市民が変わる。両者が意識改革をして初めて真の行財政改革が実行できるものと考えている。</p> <p>双方に対して、市長にはリーダーシップを発揮していただき、価値観や理念を職員と市民に示していただきたい。</p>
事務局	<p>次に、市長からみなさんへあいさつをさせていただきます。</p>
栗山市長	<p>長時間に渡り審議をいただき感謝をしている。佐藤会長から意識改革</p>

	<p>の話があったが、年頭のあいさつなどで職員に伝えているところ。職員の対応が改善したという声も聞くことがあるが、まだまだ100点ではない。</p> <p>市民の意識改革については、例えば市民から『鴨方ばかりが』というような旧町単位で格差があるような意見を聞いてきたが、これを払しょくしなければと今日までやってきており、そういった声も減りつつあるように感じている。また、各地区の総会などにも出席し、行財政改革の必要性を訴えてきたが、総論は賛成だが各論になると反対と言われる。しかしながら、できるところから実施していこうと手数料なども増額したが、そのことで厳しい意見を言われることもあった。そういったこともあるが、今後も丁寧に私の口から市民へ説明をしていかなければならないと思っている。</p> <p>市民と職員どちらに対しても意識改革を促し、真剣に行財政改革に取り組んでいきたいと思う。</p>
事務局	<p>それでは、閉会にあたり、中西副会長にあいさつをお願いします。</p>
中西副会長	<p>参集の礼。みなさんの意見により答申ができるところまで達することができた。この懇談会はここで終了ではなく、今後の進捗チェック等もあるようなので引き続きご協力をお願いしたい。</p> <p><b>【閉会】 15 : 47</b></p>